

報告 令和2(2020)年度 評価結果

42大学・2短大の機関別評価、1研究科の分野別評価を実施

当機構は、機関別認証評価を42大学・2短期大学で、
ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価を1研究科で実施し、その評価結果を公表しました。
また、30大学・1短大から提出された改善報告書等の審査を行いました。

■法改正で「適合」「不適合」を義務付け

大学等の質的転換や内部質保証の確立の状況を重視した第3期評価システムの3年目となる令和2(2020)年度は、42大学・2短期大学の機関別認証評価を行いました。その結果、40大学・2短期大学を「適合」、2大学を「不適合」と判定しました。学校教育法の一部改正により、同年度から評価機関は評価基準に適合しているか否かを認定することが義務付けられたため、結果的に2大学が「不適合」となりました。2大学に共通の要因は、財政基盤の確立に関するものであり、1大学では理事会の機能に関する指摘もありました。

5年に一度実施しているファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価は、1研究科を対象に行い、「適合」と判定しました。

再評価は、平成30(2018)年度の大学機関別認証評価で「保留」となった1大学に対して行い、「保留」の要因が改善されたとして、「適合」と判定しました。

このほか、平成29(2017)年度の大学機関別認証評価で「保留」となった1大学について、評価結果を「不適合」と変更しました。これは、認証評価実施の過程で、当該大学が事実の隠蔽等重大な社会倫理に反する行為を意図的に行ったことが確認されたためです。

■学修支援、教授方法に優れた取組み

「優れた点」は、基準2の基準項目2-2「学修支援」、基準3の基準項目3-2「教育課程及び教授方法」に多く

表1 令和2(2020)年度 評価結果の概要

●大学機関別認証評価

「適合」40大学 (☆は「改善報告書」の提出を求めた大学)

愛知産業大学／足利大学／☆植草学園大学／大阪商業大学／☆大阪電気通信大学／☆環太平洋大学／☆岐阜協立大学／京都医療科学大学／☆京都看護大学／熊本保健科学大学／☆くらしき作陽大学／☆久留米工業大学／☆こども教育宝仙大学／埼玉医科大学／嵯峨美術大学／☆佐久大学／産業能率大学／☆西武文理大学／大同大学／多摩大学／☆千葉工業大学／帝京科学大学／☆東京造形大学／☆東京未来大学／☆東邦音楽大学／☆東北医科薬科大学／東北工業大学／☆長崎総合科学大学／☆長野保健医療大学／☆新潟医療福祉大学／☆日本文理大学／八戸工業大学／☆花園大学／福井工業大学／☆文化ファッション大学院大学／☆身延山大学／明治国際医療大学／森ノ宮医療大学／☆大和大学／☆酪農学園大学

「不適合」2大学

種智院大学／東北生活文化大学

●短期大学機関別認証評価

「適合」2短期大学

作陽短期大学／自由が丘産能短期大学

●ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価

「適合」1研究科

文化ファッション大学院大学ファッションビジネス研究科

●再評価

「適合」1大学 ※()内は認証評価受審年度

大阪行岡医療大学(平成30(2018)年度)

●認証評価結果の変更

「不適合」1大学 ※()内は認証評価受審年度

大阪観光大学(平成29(2017)年度)

挙げられました。

基準項目2-2では、「学修困難を抱える学生のために教員が連携して授業を補助」「学生支援システムを活用した個別面談」「学生の学修支援活動団体と大学の連携」など、組織的な学修支援の取組みが挙げられました。基準項目3-2では、「FD研修を行った上でのアクティブ・

C O N T E N T S

報告⇒ 令和2(2020)年度 評価結果	1	大学教職員のためのよくわかる認証評価⇒	
(寄稿) 大学評価判定委員会委員長 安井利一	2	国の規制緩和と自己点検・評価	6
STUDY・評価システム⇒「保留」の廃止とフォローアップ	3	Annual Plan & Report(事業計画・事業報告)	6
インタビュー⇒ 東北工業大学 小山内幸広氏	4	From JIHEE⇒ 認証評価はオンラインで実施など	7
名古屋文理大学 山田ゆかり氏	5	会員校	8

令和2(2020)年度の認証評価は、コロナの影響によりオンラインでの実施になりました。全く新しい形式の評価を経験された、自己評価担当者及び評価員へインタビューを行い、実地調査や資料の提出・調査などについてそれぞれの立場からのご意見を伺いました。

※評価員の守秘義務のため、山田氏の担当大学名は掲載しません。

評価員

オンラインでもピア・レビューの精神を忘れずに



山田 ゆかり 氏
名古屋文理大学
副学長 / 健康生活学部長
(当機構の評価員養成検討委員会委員、評価チーム団長)

オンラインでの評価になったことで、評価チーム団長として苦勞された点や工夫された点を教えてください。

オンライン形式での大学側との面談は、対面に比べ、円滑に進めることが難しいと感じました。例えば、一つの質問に対して、評価員と大学の回答者の質疑応答が1対1の状態であれば続いて、なかなか次の質問に進まないことがありました。このような場合、これまでのように同じ会議室に評価員と大学関係者が集まっていれば、評価員同士でその場で気軽に相談したり、大学側も回答者以外の方が補足の説明をしたりと、臨機応変に対応できます。しかし、オンライン会議では、マイクのミュート切替えなどの操作に慣れていないとそのような対応はできないと感じました。

また、ある大学では、面談に参加する人数に対して使用するPCが少なく、回答者が入替りながら対応するという形式だったため、進行が難しかったそうです。人数に応じた数のPCを使用していればその状況は改善できたのではないかと思います。大学側の機材のご都合などもあるため、今後の課題だと感じております。

工夫した点は、例年も行っていることですが、評価チーム内のコミュニケーションです。オンライン会議以外でもメールでのコミュニケーションをよくとるようにして、評価員側の情報共有や相互理解をしっかりと深めるよう心掛けました。

例年と異なる方法での資料やデータの点検については、いかがでしたか。

教育研究環境の視察は、実地調査方法の変更に伴い、大学が制作した動画の視聴になりましたが、十分に確認することができました。近年はオープンキャンパスなどでもそのような動画を活用している大学もあるためか、他の評価チームからも特に大きな問題はなかったと聞いています。また、議事録等も、可能であれば全て紙で見られる状態の方が点検はしやすいのですが、面談の前にあらかじめ必要なものをデータで点検する形式で支障はありませんでした。

オンラインを活用した評価のご経験を踏まえ、今後の評価を実施していく上での考えをお聞かせください。

実地調査は、実際に大学の教育研究環境を確認し、対面で面談をすることでわかることもあるので、できれば従来どおりに大学へ直接出向く方がよいと思います。評価員会議については、第1回の会議では同じ会議室に集まって顔を合わせて議論した方が、評価チーム内の雰囲気づくりもしやすくよいのですが、それ以降は、評価員の先生方も学内会議や授業などで慣れていることから、オンライン形式による会議でもよいのではないかと考えています。

評価員養成検討委員会では、今後どのような研修を検討していますか。

認証評価はピア・レビューになりますので、大学と評価員との相互理解を深めることが重要です。オンラインであっても、一方的にならないよう、まずは大学が回答しやすいような質問を投げかけ、話を引出す工夫が必要です。会話を重ねることで、評価員が大学に対して問題だと感じていることをより伝えやすくなると考えています。今年度も評価員の研修はオンラインで行われることとなりますが、その点を評価員の皆様にも十分にご理解いただけるよう、解説動画やレジュメの制作等を進めています。

国の規制緩和と自己点検・評価

認証評価制度は、国による事前規制を弾力化しつつ、大学等の教育研究の質の維持・向上を図るため、組織運営や教育研究の実状を第三者が定期的に確認する観点から平成16(2004)年に導入されました。制度の開始から17年が経ちましたが、認証評価で一番重要なことは、大学自身の自己点検・評価であることに現在も変わりはありません。

大学の自己点検・評価は、平成3(1991)年、大学設置基準で努力義務化されたことによって、スタートしました。この年、大学審議会答申「大学教育の改善について」の提言を受けて、当時の文部省が大学設置基準の大綱化(要件の緩和)を行いました。国際化や産業構造の変化などに大学が適切に対処できるように、自由なカリキュラム編成等を認めたものです。自己点検・評価はこの大綱化に伴い定められました。

その後、大学数の増加や18歳人口の減少等により、大学は学生獲得に向けた競争や、多様化する学生の支援などに柔軟な対応が求められるようになりました。こうした状況を踏まえて、平成10(1998)年の大学審議会答申「21世紀の大学像と今後の改革方策について」で、学科設置等の審査の弾力化や手続きの簡素化などが提

言され、大学のより自由で多様な発展が促進されることになりました。その一方で自己点検・評価は、その結果を踏まえて不断の改善を図る必要があるため、平成11(1999)年に実施と結果公表の義務化、更に学外者による検証の努力義務化が大学に課せられました。

これらを受け、すべての大学等が自ら自己点検・評価を行い、その結果を冊子やホームページ等で公表することにより、組織運営や教育研究の質の維持・向上を図るようになりました。また、一部の大学では外部評価を受けるなど、評価文化が根づきはじめました。

平成14(2002)年中央教育審議会答申「大学の質の保証に係る新たなシステムの構築について」で、大学の自主的・自律的な教育研究活動がより展開できるように、学部等の設置認可の弾力化等の国による規制の緩和を更に進めるとともに、評価は大学が社会の信頼や支持を得るために不可欠なものとの考えから、第三者評価制度の導入が提言されました。これを受けて、国は学校教育法を同年ただちに改正し、文部科学大臣の認証を受けた認証評価機関による評価が平成16(2004)年から義務付けられることになりました。

Annual Plan and Report

当機構の事業計画・事業報告から、主な項目をピックアップしてお知らせします。



令和3(2021)年度 事業計画

● 評価の実施

認証評価56大学・7短期大学

● 評価基準等の調査研究

- ・ 機関別と分野別認証評価の現行の評価システムの検証と見直し・改善
- ・ 専門職大学に係る機関別認証評価の検討
- ・ 第3期評価システムの中間検証としての、評価校に対するアンケートや訪問による調査
- ・ 海外の職業教育訓練機関の評価団体の評価及び対象校の実態と課題の調査研究

● 国際関係

- ・ 諸外国の質保証機関等との交流促進
- ・ 国際会議への参加等による情報収集

令和2(2020)年度 事業報告

● 評価の実施

認証評価42大学(適合40/不適合2)・2短期大学(適合2)・1専門職大学院(適合)/再評価1大学(適合)/評価結果変更1大学(不適合)

● 評価基準等の調査研究

- ・ 不適合となった大学に対する追評価の実施方法及び改善報告等の方法の検討
- ・ 平成30(2018)年度から令和2(2020)年度評価校の自己点検評価書のデータ分析及び「優れた自己点検評価書」の事例の調査研究

● 国際関係

- ・ 台湾の評価機関 HEEACT の15周年国際大会へオンラインでの参加(10月)

認証評価はオンラインで実施

昨年度に引続き、評価員を対象とした研修、評価員会議、実地調査等は、動画の視聴やウェブ会議システムを利用してオンラインで行うこととしました。オンラインでの実地調査では、大学は、規則集や各種会議体の議事録などのエビデンス資料、「教育研究環境の視察」の代替としての映像等を事前に当機構へ提出することになります。また、これらに対応して頂くため、新たに受審校向けのマニュアルを整備し、自己評価担当者に送付します。7月には説明会も行います。

セミナー資料など役立つ動画を配信

認証評価についての理解を深めることを目的とした「大学・短期大学評価セミナー」について、本年度は資料及び解説動画を作成して配信しています。また、会員校相互の共通認識を深め、協力体制を築くことを目的とした「評価充実協議会」では、外部講師等による講演動画を7月12日から7月30日まで配信します。詳細につきましては、当機構ホームページ「セミナー・説明会」よりご確認ください。

また、「JIHEE channel」(YouTube)では、各種セミナーで使用している動画の一部、当機構の概要や自己点検評価書の作成に役立つデータなどをわかりやすく映像にまとめて掲載しています。

役職員を講師として派遣します

各大学が主催する教職員を対象としたSD研修等に、当機構の役職員を講師として派遣する事業を行っています。

講演内容・テーマは、大学の希望に合わせる事ができます。過去のテーマには、「認証評価の概要」「高等教育の質保証」「学修成果の評価・点検」などが

北欧の大学評価などの調査研究結果を公表

令和元(2019)、2(2020)年度に行った調査・研究の結果を「認証評価に関する調査研究 第10号」としてとりまとめ、令和3(2021)年3月に発行しました。

「自己点検評価書の作成に関する調査研究」では、当機構に提出された自己点検評価書のデータ分析や優れた自己点検評価書の事例紹介を行いました。「北欧の大学評価に関する調査研究」では、スウェーデンとフィンランドにおける質保証システムについて現地調査を実施しました。

報告書はホームページ(トップ→広報・刊行物→調査研究報告書)で全文を公開していますので、ぜひご覧ください。

会員校等から研修員の受入れを行っています

当機構では、「研修員受入れ制度」を設け、会員校等の教職員を研修員として受入れています。

研修員は評価事業部に所属し、大学等を担当して一連の評価業務を経験します。そのほか、当機構や外部機関の各種セミナー・研修等への参加、文部科学省関係会議の傍聴などがあります。これらの経験を通じて、認証評価と関係法令、最新の高等教育の動向について理解を深めることができます。

研修期間は原則1年間で、延長も可能です。

次年度の募集については、9月頃に当機構の会員校へ案内をお送りする予定です。

★研修員受入れ制度のお問合せ(総務部)

あります。学内の内部質保証システムの充実等にぜひご活用ください。大学で行う場合は、講師派遣料の他に交通費もご負担いただきます。昨年度よりオンライン対応も行っています。

★講師派遣事業のお問合せ(総務部)

★総務部(TEL.03-5211-5131/E-mail:soumu@jihee.or.jp)



左右に配置された流線は(地球)と、両手で作る(輪)をイメージしています。大学と社会を結ぶ機構でありたいとの想いを込めました。

Peer(ピア) 第16号

令和3(2021)年7月8日発行

編集人 伊藤敏弘

編集 小林澄子 江成一敏 板垣智香 大東美美 末永佳祐 植草浩太郎 川井琢真 保岡義明

発行 公益財団法人 日本高等教育評価機構

所在地 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-11 第2星光ビル2階

TEL 03-5211-5131 FAX 03-5211-5132 URL <https://www.jihee.or.jp/>

当機構へのご意見・ご質問や「Peer(ピア)」へのご要望はこちらへ

✉ hyoukakikou@jihee.or.jp

ホームページからもお問合せいただけます



大学
345校

私立 342校

●北海道 17校

旭川大学
札幌大学
札幌大谷大学
札幌国際大学
札幌保健医療大学
星槎道都大学
日本医療大学
函館大学
北翔大学
北星学園大学
北洋大学
北海学園大学
北海道科学大学
北海道情報大学
酪農学園大学
稚内北星学園大学
●青森 6校
青森大学
青森中央学院大学
柴田学園大学
八戸学院大学
八戸工業大学
弘前医療福祉大学
●岩手 2校
富士大学
盛岡大学
●宮城 6校
尚絅学院大学
仙台大学
東北医科薬科大学
東北工業大学
東北生活文化大学
東北化学工業大学
●秋田 2校
秋田看護福祉大学
ノースアジア大学
●山形 3校
東北芸術工科大学
東北公益文科大学
東北文科大学
●福島 3校
奥羽大学
東日本国際大学
福島学院大学
●茨城 2校
筑波学院大学
日本ウェルネス
スポーツ大学
●栃木 3校
足利大学
国際医療福祉大学
作新学院大学
●群馬 7校
関東学院大学
共愛学園前橋国際大学
桐生大学
群馬医療福祉大学
群馬バース大学
高崎商科大学
東京福祉大学
●埼玉 19校
浦和大学
共栄大学
埼玉医科大学
埼玉学園大学
十文字学園女子大学
尚美学園大学
女子栄養大学
西武文理大学
東都大学

東邦音楽大学
日本医療科学大学
日本工業大学
日本保健医療大学
日本薬科大学
人間総合科学大学
平成国際大学
武蔵野学院大学
明海大学
ものづくり大学
●千葉 16校
愛国学園大学
植草学園大学
江戸川大学
開智国際大学
亀田医療大学
川村学園女子大学
神村外語大学
三育学院大学
秀明大学
聖徳大学
清和大学
千葉科学大学
千葉工業大学
千葉商科大学
徳寺大学
麗澤大学
●東京 40校
桜美林大学
大妻女子大学
嘉悦大学
国立音楽大学
国士舘大学
こども教育宝仙大学
昭和大学
杉野服飾大学
高千穂大学
多摩大学
帝京大学
東京科学大学
帝京平成大学
東京有明医療大学
東京医療学院大学
東京音楽大学
東京家政学院大学
東京工科大学
東京純心大学
東京女子体育大学
東京聖栄大学
東京成徳大学
東京造形大学
東京富士大学
東京未来大学
桐朋学園大学
二松学舎大学
日本医科大学
日本歯科大学
日本獣医生命科学大学
日本女子体育大学
日本体育大学
日本文化大学
ハリウッド大学院大学
文化学園大学
文化ファッション大学院大学
武蔵野音楽大学
目白大学
ヤマザキ動物看護大学
SBI大学院大学
●神奈川 13校
神奈川工科大学
鎌倉女子大学
産業能率大学
松蔭大学
湘南医療大学
昭和音楽大学
星槎大学

田園調布学園大学
日本映画大学
八洲学園大学
横浜商科大学
横浜創英大学
横浜薬科大学
●新潟 6校
国際大学
長岡大学
新潟医療福祉大学
新潟経営大学
新潟国際情報大学
新潟青陵大学
●山梨 3校
健康科学大学
身延山大学
山梨学院大学
●富山 3校
高岡法科大学
桐朋学園大学院大学
富山国際大学
●石川 6校
金沢学院大学
金沢工業大学
金沢星稜大学
金城大学
北陸大学
北陸学院大学
●福井 2校
仁愛大学
福井工業大学
●長野 4校
佐久大学
長野保健医療大学
松本大学
松本歯科大学
●岐阜 5校
朝日大学
岐阜医療科学大学
岐阜協立大学
岐阜女子大学
東海学院大学
●静岡 5校
静岡英和学院大学
静岡産業大学
静岡福祉大学
静岡理工科大学
浜松学院大学
●愛知 32校
愛知学院大学
愛知学泉大学
愛知工科大学
愛知工業大学
愛知産業大学
愛知東邦大学
愛知文教大学
愛知みずほ大学
一宮研伸大学
桜花学園大学
岡崎女子大学
金城学院大学
修文大学
椋山女子学園大学
星城大学
大同大学
中部大学
東海学園大学
同朋大学
豊橋創造大学
名古屋音楽大学
名古屋外国語大学
名古屋芸芸大学
名古屋経済大学
名古屋芸術大学
名古屋産業大学
名古屋女子大学

名古屋造形大学
名古屋文理大学
日本福祉大学
人間環境大学
名城大学
●三重 4校
鈴鹿大学
鈴鹿医療科学大学
四日市大学
四日市看護医療大学
●滋賀 4校
成安造形大学
聖泉大学
びわこ学院大学
びわこ成蹊スポーツ大学
●京都 14校
京都医療科学大学
京都外国語大学
京都華頂大学
京都看護大学
京都芸術大学
京都情報大学院大学
京都先端科学大学
京都美術工芸大学
嵯峨美術大学
種智院大学
花園大学
佛教大学
平安女学院大学
明治国際医療大学
●大阪 36校
大阪青山大学
大阪大谷大学
大阪音楽大学
大阪河崎
リハビリテーション大学
大阪観光大学
大阪経済法科大学
大阪芸術大学
大阪商業大学
大阪国際大学
大阪歯科大学
大阪樟蔭女子大学
大阪樟蔭女子大学
大阪成蹊大学
大阪電気通信大学
大阪人間科学大学
大阪物理大学
大阪保健医療大学
大阪行岡医療大学
関西医療大学
関西外国語大学
関西福祉科学大学
滋慶医療科学大学
四條畷学園大学
四天王寺大学
摂南大学
千里金蘭大学
相愛大学
太成学院大学
宝塚大学
帝塚山学院大学
常盤会学園大学
梅花女子大学
羽衣国際大学
東大阪大学
森ノ宮医療大学
大和大学
●兵庫 13校
芦屋大学
大手前大学
関西国際大学
関西福祉科学大学
甲子園大学
甲南女子大学
神戸医療福祉大学

神戸芸術工科大学
神戸国際大学
神戸常盤大学
宝塚医療大学
姫路獨協大学
兵庫大学
●奈良 2校
奈良大学
奈良学園大学
●和歌山 1校
和歌山信愛大学
●岡山 8校
岡山商科大学
環太平洋大学
吉備国際大学
倉敷芸術科学大学
くらしき作陽大学
山陽学園大学
中国学園大学
美作大学
●広島 11校
エリザベト音楽大学
比治山大学
広島経済大学
広島工業大学
広島国際大学
広島都市学園大学
広島文化学園大学
広島文教大学
福山大学
福山平成大学
安田女子大学
●山口 6校
宇部フロンティア大学
至誠館大学
東亜大学
徳山大学
梅光学院大学
山口学芸大学
●徳島 1校
徳島文理大学
●香川 2校
四国学院大学
高松大学
●愛媛 1校
松山東雲女子大学
●福岡 13校
九州栄養福祉大学
九州共立大学
九州国際大学
九州女子大学
久留米工業大学
純真学園大学
西南女学院大学
聖マリア学院大学
第一薬科大学
筑紫女学院大学
西日本工業大学
日本経済大学
福岡工業大学
●佐賀 1校
西九州大学
●長崎 4校
鎮西学院大学
長崎外国語大学
長崎国際大学
長崎総合科学大学
●熊本 5校
九州看護福祉大学
熊本保健科学大学
尚絅大学
崇城大学
平成音楽大学
●大分 2校
日本文科大学
別府大学

●宮崎 4校
九州保健福祉大学
南九州大学
宮崎国際大学
宮崎産業経営大学
●鹿児島 3校
鹿児島純心女子大学
志学館大学
第一工科大学
●沖縄 2校
沖縄キリスト教学院大学
沖縄国際大学

株式会社 3校

●東京 2校
ビジネス・ブレイクスルー大学
LEC 東京リーガルマインド大学院大学
●福岡 1校
サイバー大学

短期大学
25校

私立 25校

●北海道 1校
札幌大谷大学短期大学部
●青森 1校
八戸学院大学短期大学部
●福島 1校
福島学院大学短期大学部
●栃木 1校
作新学院大学
女子短期大学部
●東京 4校
上野学園大学短期大学部
大妻女子大学短期大学部
文化学園大学短期大学部
●神奈川 2校
鎌倉女子大学短期大学部
昭和音楽大学短期大学部
●石川 1校
北陸学院大学短期大学部
●岐阜 1校
東海学院大学短期大学部
●静岡 1校
静岡英和学院大学
短期大学部
●滋賀 1校
びわこ学院大学短期大学部
●大阪 2校
大阪音楽大学短期大学部
大阪芸術大学短期大学部
●兵庫 1校
兵庫大学短期大学部
●岡山 2校
作陽短期大学
山陽学園短期大学
●広島 2校
比治山大学短期大学部
安田女子短期大学
●山口 1校
宇部フロンティア大学
短期大学部
●愛媛 1校
松山東雲短期大学
●福岡 1校
福岡こども短期大学
●鹿児島 1校
第一幼児教育短期大学